

# いちかわ

# 市議会だより

## 6月定例会号

市議会だよりは原則として、定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日と1月1日に発行(新聞折り込み)しています。  
今回の市川市議会は9月定例会が開かれる予定です(定例会の開会予定日は6面に掲載)。

## 6月定例会

# 補正予算案などを可決

## 震災対応など約5億3千万円規模



東日本大震災で液状化や地盤沈下などの被害を受け、補正予算で本格復旧工事が行われる施設  
(左上) 塩浜小学校 (左下) 塩浜中学校 (右上) 塩焼中央公園 (右下) 塩浜1丁目地先の市道

市議会は、平成23年6月定例会を6月10日から24日まで開催しました。

6月定例会では、市長から東日本大震災による災害復旧に関する事業など、5億3635万円を補正する平成23年度市川市一般会計補正予算(第1号)、市川市税条例の一部改正、市川市中小企業資金融資及び利子補給条例の一部改正などの議案4件と人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問1件、その他、報告7件が提出されました。また、議員からは、公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書の提出についての議案9件が提出されました。

他に、請願の審議、31人の議員による市政に関する一般質問を行いました。

なお、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例の一部改正についての議案は撤回されました。  
(一般質問は2〜5面、審議結果一覧は6面に掲載)。

### 議員の表彰

#### 全国市議会議長会

谷藤 利子  
金子 正

#### 在職20年表彰

### ◆主な議案

○平成23年度市川市一般会計補正予算(第1号)  
一般会計補正予算案は、東日本大震災により被害を受けた道路、公園、学校等の復旧工事費用、耐震診断費補助金の増額や住宅防災リフォーム推進事業の新設、その他花火大会の中止に伴う事業費の減額などを内容とする5億3635万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1331億3635万円とするものです。

#### 【主な質疑】

「今回の震災で市内の小中学校等に被害が及んでいる。子ども達の命を預かり、避難場所となる学校が被害にあっていることは大変心配である。修繕はどうなっているのか。」との質疑に対し、「修繕できる箇所は対応済みで、費用が大きな案件は6月定例会において工事請負費の補正をお願いするものである。」との答弁がなされました。

また、「道路復旧工事の対象15カ所のうち、ほとんどの箇所については国から補助を受けられるとのことであるが、塩浜1丁目の海沿いの箇所は、補助を受けない工事と聞いている。その理由は何か。」との質疑に対し、「災害復旧工事には様々な条件を定めた基本方針があるが、この現場で基本方針に沿った工事を行うと費用が膨大になる他、市川漁港の将来計画や、県が平成23年度から3年をかけて護岸工事を行うことにかんがみ、道路復旧に必要な限度での工事としたため、補助対象から外れることとなった。」との答弁がなされました。

#### ○市川市税条例の一部改正について

東日本大震災の被災者の負担の軽減を図るため、地方税法の改正等が行われたことに伴い、住宅借入金等特別税額控除の適用期間の特例について定めるものです。

○市川市中小企業資金融資及び利子補給条例の一部改正について  
経済部を所管する常任委員会が建設経済委員会とされたことに伴い、市川市中小企業融資制度審議会の委員に関する規定について条文整備を行うものです。

### ◆諮問

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
人権擁護委員法の規定により法務大臣に対し、人権擁護委員の候補者を推薦するため、市議会の意見を求める必要があることから、吉田昭枝氏を推薦したい旨提案するものです。

### ◆報告

市川市土地開発公社、財団法人市川市清掃公社、公益財団法人市川市文化振興財団の平成22年度決算及び平成23年度事業計画、一般財団法人市川市福祉公社の平成22年度決算について報告がなされました。

### ◆審議結果

本会議での採決の結果、市長提出議案の4件を原案通り可決、同意した他、議員提出の意見書案のうち5件を可決、4件を否決しました。また、諮問1件に対し、異議ない旨答申しました。その他、請願3件を採択しました。